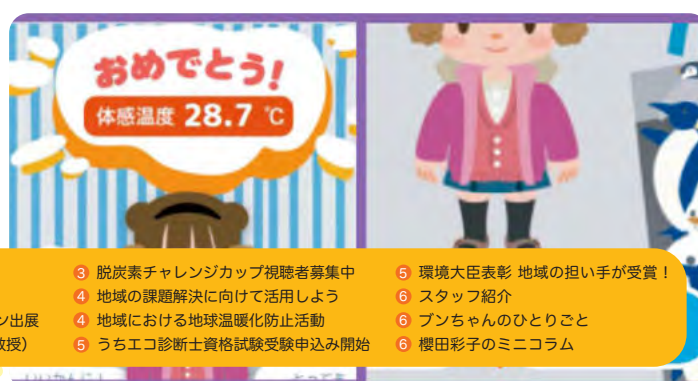


全国ネット通信

Japan Network for Climate Change Actions NEWSPAPER



新年のご挨拶

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長 高田 研
(都留文科大学 特任教授)

気候変動問題を「大人に任せておくわけにはいかない。」という若者たちの動きは、コロナ禍でも止まらない。露木志奈さん(18)もその一人。昨年末JEEF(※)の主催するワークショップで彼女に出会った。高校はインドネシアバリ島にあるGreen School Baliという世界中の若者が持続可能性を学ぶ学校に留学、その後は慶応大に進学するが休学。現在全国の小中高校で講演やワークショップを続け、彼女なりのアクションを始めている。「任せておくわけにはいかない」は、まさに啓発をミッションとする我々に投げつけられた言葉。2050年のCO2実質ゼロ目標に向けて、地域で何が可能なのか、全国の実践と知恵を結集しなければならない。「待ったなし」の1年が始まった。

(※)公益社団法人日本環境教育フォーラム





年頭のご挨拶

環境大臣 小泉 進次郎



明けましておめでとうございます。新たな年を迎え、環境行政に対する国民の皆様の御期待に応えられるよう決意を新たにし、御挨拶を申し上げます。

環境省は、今年、環境庁創設から50年、環境省設置から20年の節目を迎えます。この間、公害問題から気候危機へと課題が大きく変化する中で、環境省は、水俣病を始めとする原点を忘れることなく、「脱炭素社会への移行」、「循環経済への移行」、「分散型社会への移行」という「3つの移行」を通じた、経済社会のリデザイン（再設計）を一層強力に進めてまいります。

第一に、「脱炭素社会への移行」についてです。菅総理の2050年までのカーボンニュートラルの宣言を受け、「この10年が勝負」という思いで政策を強化していきます。まず、2050年排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」は、約200自治体となり、人口規模では9000万人を超えています。地域における再生可能エネルギーの導入拡大と地産地消に向けた支援を行うとともに、地球温暖化対策推進法の改正の検討を進め、2050年カーボンニュートラルを位置付けることを目指します。

また、一人ひとりの新たなライフスタイルへの転換も図っていきます。先の第3次補正予算案でも、「動く蓄電池」としての電気自動車に対し、購入者に再エネ電力100%調達を条件として、購入補助を40万円から80万円に倍増することを盛り込みました。

さらに、脱炭素化に向けた取組は、産業構造や経済社会の変革をもたらす、経済成長につながります。カーボンニュートラルの実現に向けて、成長戦略に資するカーボンプライシングについて検討を再開します。

こうした政策強化により、政策の継続性や予見可能性を高め、我が国の本気度を示していきます。

第二に、「循環経済への移行」についてです。プラスチック全体の資源循環を促進するため、新法を策定する可能性も含め、「プラスチック資源循環戦略」の具体化を進めます。

また、激甚化・頻発化している気象災害では、大量の災害廃棄物が発生しています。災害廃棄物の早期撤去を目指し、復旧・復興の段階に応じて、切れ目なく支援をしていきます。併せて、災害廃棄物処理に不可欠であり地域のエネルギーセンターにもなる廃棄物処理施設の整備の支援や、浄化槽の整備にも引き続き取り組みます。

第三に、「分散型社会への移行」についてです。近年、気象災害が頻発する中、自立・分散型のエネルギーシステムの普及・展開等を通じて、地域のレジリエンス強化を進めていきます。

また、国内外からの誘客と長期滞在の促進や地域活性化への貢献を目指す「国立公園満喫プロジェクト」を全ての国立公園へと展開します。国立公園におけるワーケーションの環境整備を進めるとともに、廃屋対策などの景観の改善や質の向上、電気自動車の活用・優遇や再エネの率先利用などにも注力します。自然の保護と利活用の両立を促進するため、自然公園法の改正に向けた検討を進めます。

国際的には、気候変動枠組条約COP26と生物多様性条約COP15の開催が予定されています。COP15では、新たな世界目標であるポスト2020生物多様性枠組の策定に向けて、持続可能なサプライチェーンの構築や測定可能な目標設定の議論に貢献するとともに、各国の生物多様性国家戦略の策定支援について国際連携を推進します。

間もなく東日本大震災から10年の節目を迎えます。福島復興・再生のため、除去土壌等の中間貯蔵施設への輸送、特定復興再生拠点区域における家屋等の解体・除染、指定廃棄物等の処理、県外最終処分の実現に向けた減容・再生利用等を進めます。また、環境省と福島県との連携協定に基づき、「再生可能エネルギー先駆けの地」、「ワーケーションの聖地」を目指す福島の挑戦を支援します。原子力防災に関しては、各地域の緊急時対応等に基づく防護措置と感染防止対策の両立に努めていきます。

皆様とともに、コロナと気候危機という二つの危機を、より持続可能で強靱な経済社会へのリデザインにつなげる機会に変えていくことを祈念して、新年の御挨拶といたします。

「エコライフ・フェア」「エコプロ」にオンライン出展しました



▲エコプロオンライン開催の様子

毎年開催されている展示会「エコライフ・フェア」と「エコプロ展」。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初めてオンラインでの開催となりました。

全国ネットは「全国の脱炭素アイデア・知恵が大集結」をテーマに、地球温暖化防止のために、私たちに何ができるのか？その疑問・お悩みを解決するコンテンツを多数公開しました。国立環境研究所の江守正多先生によるセミナー「いまさら聞けない、脱炭素」や、地域センターによる「地球温暖化防止活動！地域センター普及啓発動画集！」、野生動物写真家の秋山知伸さんをお迎えして地球温暖化といきものの現在・未来について収録した動画は、JNCCAのYouTubeチャンネルからご覧いただけます！

また、暖房いらずで上手な着こなし+体感温度アップ↑のアイデアがウェブゲームで遊びながら学べる「エコロモード☆ファッションショー」もJNCCAウェブで公開していますので、ぜひご覧ください。



▲エコライフ・フェアon-line開催の様子



地球温暖化防止全国ネットは カーボンニュートラル・アクションプラン作成の先頭に立て！

東京大学名誉教授 山本良一

2021年日本は明治維新に匹敵するような社会の大変革期を迎えている。五箇条の御誓文が発せられ、廃藩置県が断行され、文明開化政策が強力に推し進められた明治初期の頃と現在は似ていてはいないだろうか。

欧米諸国のみならず中国も早期のカーボンニュートラル社会の実現を目指し始めている。2020年12月8日の段階でCEDAMIA (Climate Emergency Declaration and Mobilization in Action) の統計によれば33ヶ国の1856自治体が気候非常事態宣言 (CED) を行いカーボンニュートラル・アクションプランの作成に取り組んでいる。10月26日の所信表明演説で菅総理は2050年カーボンニュートラルの実現を世界に公約された。11月19日、20日と衆参両院でCEDが全会一致で可決された。国内1741自治体の43自治体がCEDを行った。小泉環境大臣の呼びかけに応じて2050年二酸化炭素排出実質ゼロを表明した自治体は12月8日の時点で185に達した。中西経団連会長は記者会見で「多くの方から経済界は抵抗勢力になるのではないかとご心配をいただいたが、全く逆」と語り、カーボンニュートラルに関する経団連提言を発表した。東京都の小池都知事は2030年には全て電気自動車にすると都議会で表明している。このように「文明開化」は恐ろしい速さで進み始めた。政府は「暮



らしの脱炭素化の工程表」を2021年6月までに作成するとしている。

しかしながら世界の先進都市はこれを上回る速度で突進していることを忘れてはならない。コペンハーゲン2025年、オスロは2030年、ヘルシンキは2035年、ストックホルムは2040年にカーボンニュートラルを達成しようとしているのである。イギリスのブリストルなど160を超える自治体は2030年カーボンニュートラルを目標としている。地球温暖化防止全国ネットはこれまでの実績を活かし、自治体のカーボンニュートラル・アクションプラン作りの先頭に立っていただきたい。



2021年2月9日「脱炭素チャレンジカップ2021」 オンライン開催！視聴者募集中！！

「脱炭素チャレンジカップ2021」では、地域で日々取り組まれている様々な団体による脱炭素社会づくり活動や地球温暖化防止の取組を募集し、厳選なる書類審査を経て、ファイナリストが決定しました。2021年2月9日には、全国から選ばれたファイナリスト28団体によるプレゼンテーションで成果を競い合い、環境大臣賞、文部科学大臣賞と企業／団体賞等を決定いたします。

この日は、地域の脱炭素化へのモデルとなる知恵や取組みを、またとない機会となります。

今回はオンライン開催なので、全国どこからでもご視聴いただけます！皆様のご視聴を心よりお待ちしております。



お問合せ先

E-mail: zccc@zenkoku-net.org
Tel: 03-6273-7785

Zero Carbon Challenge Cup 2021

第11回

脱炭素 チャレンジカップ 2021

視聴者募集中！

オンライン開催！

全国から選ばれた脱炭素社会の構築につながる活動に取り組むファイナリストが大集結！
その成果を4分間のオンラインステージで披露していただき、各賞を決定します。
グランプリの栄誉に輝くのはどの団体か？全国の知恵と技をご覧ください。

開催日 2021年2月9日(火)

●プログラム(予定)● 10:00~16:45

10:00 ~ 10:12 開会 / オープニング
10:12 ~ 13:15 ファイナリスト28団体による
プレゼンテーション発表
13:30 ~ 14:35 審査・株式会社サカイエンタープライズ 審査委員長
パネルディスカッション
14:35 ~ 15:15 オンラインワークショップ
15:30 ~ 16:45 表彰式(審査結果発表) / 閉会式

【講演】13:30~14:15(予定)
堅達 京子さん
NHKエンタープライズ
エグゼクティブプロデューサー
NHK 人員は、報道番組の
ディレクターとしてNHKスペシャル
サクロス・アス・アス・アス
2006年からプロデューサー、放送
キャンペーンの制作を担当。社会問題や環境問題をテーマに
数多くのドキュメンタリーを放送。近著に「脱プラスチックへの
挑戦」、日本環境ジャーナリストの自伝集。

詳細・視聴者登録は… <https://www.zenkoku-net.org/datsutanso>



地域の課題解決のためにロジックモデルを活用しよう(研修報告)

全国センター事業では、地域の温暖化対策推進に資するスキル向上を図るべく、地域センター従事者研修を実施しています。その一環として、事業の効果的な企画と継続的な実施・改善を目的として、昨年度から「地域センターにおけるプロジェクトマネジメント力の向上」をテーマに、明治大学ガバナンス研究科教授 源由理子先生と明治大学プログラム評価研究所客員研究員 高橋聖子先生を講師に迎え、管理者向け研修を実施しています。

昨年度の管理者向け研修では、事業評価を行うためのアウトプット・アウトカムの捉え方、ロジックモデル構築についての講義のほか、ファシリテーションの機能や方法論についての講義等を実施しました（全国ネット通信 Vo1.35 参照）。今年度は、昨年度の研修成果の実践として、昨年度受講者から4名がファシリテーターとなって、「架空の地域における課題解決に向けて地域センターができること」をテーマに、ロジックモデルを構築するワークショップをファシリテートしていただきました。ロジックモデルの理解を深めると共に、実践的な検討を進める研修とすることができました。

さて、去る10月26日、菅内閣総理大臣は所信表明演説で「2050年にカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言され、低炭素から脱炭素へ明確にステージが変わりました。この大きな目標を達成するには社会システムの変化が必要と言われており、全国センター・地域センターの役割も変化するものと考えられます。「各地域センターの強み・弱み・資源の抽出」、「脱炭素社会の実現に向けて、地域センターでは何ができるのか」などについて、管理者研修を修了された方を中心に地域ブロックでの意見交換が、今後の事業検討のために有効と考えます。全国センター事業として、企画の相談や場づくり等の支援を行いますので、今後の全国センター・地域センターのあり方・役割等を一緒に考えていきましょう。

地域における地球温暖化防止活動促進事業 活動紹介

環境省の「地域における地球温暖化防止活動促進事業」に採択された57の地域地球温暖化防止活動推進センターでは、地球温暖化対策等についての広報・啓発活動などを実施しています。その中のひとつ岩手県地球温暖化防止活動推進センター（NPO法人環境パートナーシップいわて）では、SDGsの視点で岩手県の未来について考える勉強会やワークショップの実施事業等に取り組んでいます。10月と12月は、現在の三方よしを模索すべく、地域の文化・歴史・活動を強みに地域循環共生圏を考えるフォーラムを開催しましたので、ご紹介いたします。

地域循環共生圏フォーラム ～脱炭素・SDGsの実現を岩手から～

新型コロナ危機からのグリーン・リカバリーをキーワードに3日間にわたり開催された本フォーラム。会場とオンラインのハイブリッド形式で行われました。

初日の10月31日は、「地域循環共生圏未来フォーラム」と題し、将来世代の利益を反映するためのしくみづくりについて、12月3日の「地域循環共生圏ESG金融フォーラム」では、地域循環共生圏を地域で展開する上での金融機関の役割やESG投資について、12月4日の「脱炭素まちづくりフォーラム」では、エネルギーを視点とした地域目線のまちづくりについて、基調講演、先進事例の紹介、岩手県内で活躍する方々によるショートプレゼンが行われました。

ショートプレゼンの発表者は、伝統的工芸、建設、飲食、教育、行政など地域課題に根ざしながら様々な角度から持続可能な社会に向けた活動や想いを話され、地域には脱炭素社会に向けた多様な活動があることを参加者と共有されていました。また、プレゼンに続く講演者等とのディスカッションでは、今後の活動や仕掛けについて、個人や団体の利益だけではなく、皆が豊かに生きていくための視点で意見が交わされました。

全日程を通じ、岩手県が目指す2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、県民の意識・行動変容のための“情報発信”“事例紹介”“交流”の場となった本フォーラム。岩手県センターでは、引き続き、岩手県の未来を自分事として考え、持続可能な社会づくりに向けて行動する人を育成する事業なども展開していくとのことでした。





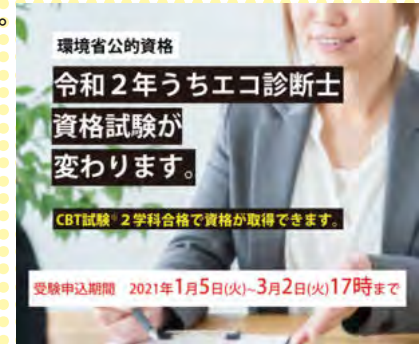
うちエコ診断士資格試験の受験申込みが始まりました！

「うちエコ診断士」とは、環境省の「うちエコ診断ソフト」を使い、各家庭のライフスタイルに合わせたCO₂・光熱費削減の対策提案を行うことができる、環境省公的資格です※1。認定後は、家庭向けの診断サービスや自治体等における地球温暖化対策の推進のための活動として、ご自身が持つ環境やエネルギー等に関する知識や経験を活用することができます。

本年度より、CBT試験※2(2学科)の合格でうちエコ診断士の資格が取得いただけるようになりました。新たに環境に関する知識を身に着けたい方などにお勧めします。まずはトライしてみませんか？

※1 うちエコ診断士として診断活動を行うには、「うちエコ診断実施機関」への登録が必要です。

※2 CBT(Computer-Based Testing)試験・・・全国47都道府県にある試験会場に設置されたコンピューターを使用して、試験問題に回答する試験方式です。試験実施期間内であれば、希望する日時で予約し、受験出来ます。ただし、会場の空き状況によっては、受験日時場所のご予約のご希望に添えない場合もございます。



令和2年度 うちエコ診断士 資格試験の 概要	試験資格名称	うちエコ診断士資格試験
	お申込み期間	2021年1月5日(火)から3月2日(火)まで
	受験期間	2021年1月7日(木)から3月12日(金)まで
	受験会場	全国47都道府県 約150会場
	受験料	うちエコ診断士試験(学科1+2) 14,300円(税込)

資格試験に関する詳しい情報(申込方法、出題範囲、試験方法など)は家庭エコ診断制度ポータルサイトの「うちエコ診断士資格を取得したい方」のページをご覧ください。



うちエコ診断士資格試験公式テキスト販売中

うちエコ診断士資格試験公式テキストは、「地球温暖化と家庭でできるeco」として「基礎編」「実践編」に分け、よりわかりやすく改訂いたしました。

「基礎編」は、気候変動問題の今さら聞けない基本的な背景やパリ協定までの最新情報、さらには家庭での温暖化防止対策を実施するために関係する制度や効果的な対策について解説しています。

「実践編」は、うちエコ診断を実施するために必要な知識・技術についての内容となっています。診断制度の内容やソフトの操作方法、診断を行う際のマナーやルールその他、実際の診断の現場を想定した診断のポイントについて解説しています。

家庭エコ診断制度ポータルサイト・・・

<https://www.uchieco-shindan.jp/shindan/>

令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰 地域の担い手が受賞！

環境省では、地球温暖化対策推進の一環として、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体をたたえるため、「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を行ってきました。

今年度より、昨今の社会における気候変動対策の動向等を踏まえ、「気候変動アクション環境大臣表彰」にリニューアル。気候変動の緩和及び気候変動への適応に関し顕著な功績のあった個人・団体に対し、その功績をたたえるため、表彰を行っています。今年度も「地域の担い手」である地域センター・推進員の方が受賞されました。受賞に際してのメッセージをいただきましたのでご紹介いたします！



一般社団法人日本キリバス協会代表理事ケンタロ・オノ
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (共同受賞)

受賞活動名：気候変動最前線国キリバス共和国をテーマとした気候変動防止啓発活動

今回、連名で表彰を拝受することができ大変光栄です。気候変動最前線国「キリバス共和国」では既に海岸浸食や井戸水への海水浸水、高潮被害が発生し、人々の生活や海洋生物多様性に大きな影響が起きています。誰一人取り残されない未来を実現するためにもキリバス共和国の素晴らしい自然、文化や現状を伝えて行くと共に、一人でも多くの皆さんに自分事として、気候変動防止に向けた有意義な活動を継続して参りたいと思います。



北海道地球温暖化防止活動推進員 宮森芳子さん

受賞活動名：「省エネ・新エネを身近に」地球温暖化防止に資する継続的活動

身近な暮らしの中での地球温暖化防止活動に取り組んで20年、自らの実践とともに、北海道という寒冷地のライフスタイルに基づいた情報発信を心掛けてきました。

特に若い世代には、環境問題を自分事と捉え、考え、行動する・持続可能な社会に主体的に参画できる人材の育成が期待されています。これからも、対象者に合わせたグループディスカッションなどのアクティブラーニングや映像を取り入れた新しい学習方法で啓発活動を継続していきます。



ばんちゃんのひとりごと

生物多様性ってなあに？

シリーズ4回目の今回は、最近人気急上昇の「動かない鳥！ハシビロコウ」です。



ハシビロコウってどんな動物？

分類：ハシビロコウ科に属する一科一種
体長：大型の鳥類で、110～140cm
(中には150cm以上になることも)
体重：4～7kg (オスは平均5.6kg、メスは平均4.9kg)
食べ物：主食は魚

嘴(くちばし)：巨大な嘴を持ち、淡黄色に不規則な灰色の模様があります。和名は「嘴の広いコウノトリ」、英名のShoebillは「靴のような嘴」を意味しています。
生息地：アフリカ中央部 南スーダンからザンビアにかけての湿地に分布
寿命：正確には解明されていませんが、コウノトリ科の鳥では平均35年とされています。

なぜ動かない？：沼地で、ひたすら魚に気が付かれないように、じっと動かずに待ち続け、魚が水面に上がってきたときに、一挙に襲いかかります。
絶滅危惧種(VU)：1997年には15,000羽ほど生息していたのですが、近年は5,000～8,000羽にまで減少しているといわれています。

ハシビロコウは、現在様々な脅威に直面していますが、そのほとんどが人間との関りが原因と言われています。生息地の湿原帯は、農地や牧草地に転換され、家畜や人による攪乱が起き、巣や繁殖地が破壊されています。それに加えて、南スーダンでの石油採掘、中央アフリカでの大規模な農業開発も生息数の減少に大きな影響を与えています。また、食用目的や卵・雛も含めた飼育目的の不法な狩猟・捕獲による脅威も広がっています。

ハシビロコウの飼育下での繁殖は、欧米諸国で数例報告されているだけで、その生理や生態はほぼ不明な状況であることから、まだまだ謎が多い鳥と言われています。国内でも繁殖に向けた研究や、生息地の保全に向けた普及啓発活動が活発になってきています。

頭の羽根が少し飛び出した愛嬌たっぷりのハシビロコウを地球から絶滅させないためにも、「文ちゃんの独り言」をきっかけに、まずは野生動物にも興味を持って頂けたら幸いです。

これからも人間とハシビロコウが共存できる世界でありますように。

企画・広報グループ 高橋文彦

スタッフ紹介

総務グループ 佐藤 佑樹
Yûki Satoh



前職は鹿児島で金融業に勤めていました。昨年バイクを買ったので、これから色々なところに行きたいと思っています！

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感

染がさらに拡大する中、新たな一年が始まりました。

私が入社したのは2014年11月です。その後「働き方改革」関連法が成立・施行されましたが、コロナ禍の影響で急激に新しい働き方が求められるようになりました。新しい環境に戸惑っている方も多くいらっしゃると思いますが、今後の普及啓発のあり方等を考えるうえで大きな変革期でもあると思います。全国ネットでも事務所移転のタイミングだったこともあり、一気にテレワーク就業に対応できる環境を整えました。

菅首相から「脱炭素社会実現」の所信表明があり、世間的な関心も高まっています。しかし、2020年のSDGsの達成度を見ると、13「気候変動に具体的な対策を」は昨年までと変わらず評価が赤色のまま、また進捗状況はオレンジの矢印で2030年の目標達成までに必要なペースの50%を下回っているようです。学校の授業や会社の会議など、オンラインを交えた新たな形が生まれてきています。

私たちの活動でも、有用なものは積極的に取り入れていきましょう！



引用：Sustainable Development Report

エコアナウンサー 櫻田彩子の



「魂を表現しているか これが私の設計のものさしです」
以前一緒にさせて頂いた世界的建築家 高崎正治さんの言葉です。
この問いに心が震えました。

少し前は脱炭素、という言葉を使うのは勇気が必要だったと思います。しかし、今は野心的な「行動」と「未来」を表す言葉になりました。脱炭素チャレンジカップ2021のファイナリストの皆さんは、先んじて地域や学校、企業で地球温暖化防止の活動に取り組まれてきた方々であり、心から湧き出てくる思いを形にし、まさに魂を表現している、と言っても過言ではないと思います。

今年も脱炭素チャレンジカップは【古本募金しゃぼん】と連携しています。本棚も片付き、寄付もでき、サーキュラーエコノミーの推進にも！我が家の本棚は、毎年しゃぼんでスッキリです。コロナ禍を乗り越え、自然と共に生きる心を大切に2/9当日、皆さんにオンラインでお会い出来るのを楽しみにしています。

櫻田彩子
プロフィール
Sakurada Ayako
Profile
宮城県出身の
エコアナウンサー。
テレビ朝日
「じゅん散歩」
レポーターほか、
「脱炭素チャレンジ
カップ」の会など。
全国ネット賛助会員。



▲ 5歳も分別

表紙の写真：オンライン展示コンテンツ

多くのイベント・展示会がコロナ禍によって「オンライン」となった2020年。動画やコンテンツを新たに作成しました。動画はJCCCAのYouTubeチャンネルに掲載していますのでぜひご覧ください！

編集後記

2021年、新しい年が始まったと同時に、東京はコロナウイルスによる緊急事態宣言が再び発出されてしまいました。仕事はオンライン&在宅勤務、休みの日はステイホーム。試行錯誤の日々が始まって早くも一年になるうとしています。昨年9月末には事務所の移転もあり「新しい生活様式」に慣れることで毎日一杯いっぱいですが、さらに「脱炭素ライフスタイル」への転換を見据えた新しい生活様式に向けて、情報収集の日々です。

(企画・広報グループ 井原 妙)

地球温暖化防止全国ネット通信 第37号 2021年1月号

【編集・発行】
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット (JNCCA)
〒102-0074 東京都千代田区九段南3-9-12 ※
九段ツカナビル7階
TEL: 03-6273-7785 FAX: 03-3263-1010
※事務所移転に伴い、住所とFAXが変わりました
<https://www.zenkoku-net.org/>



一般社団法人地球温暖化防止
全国ネットの活動をサポート
してください！
年会費：個人会員1口 5,000円
団体会員1口 20,000円

